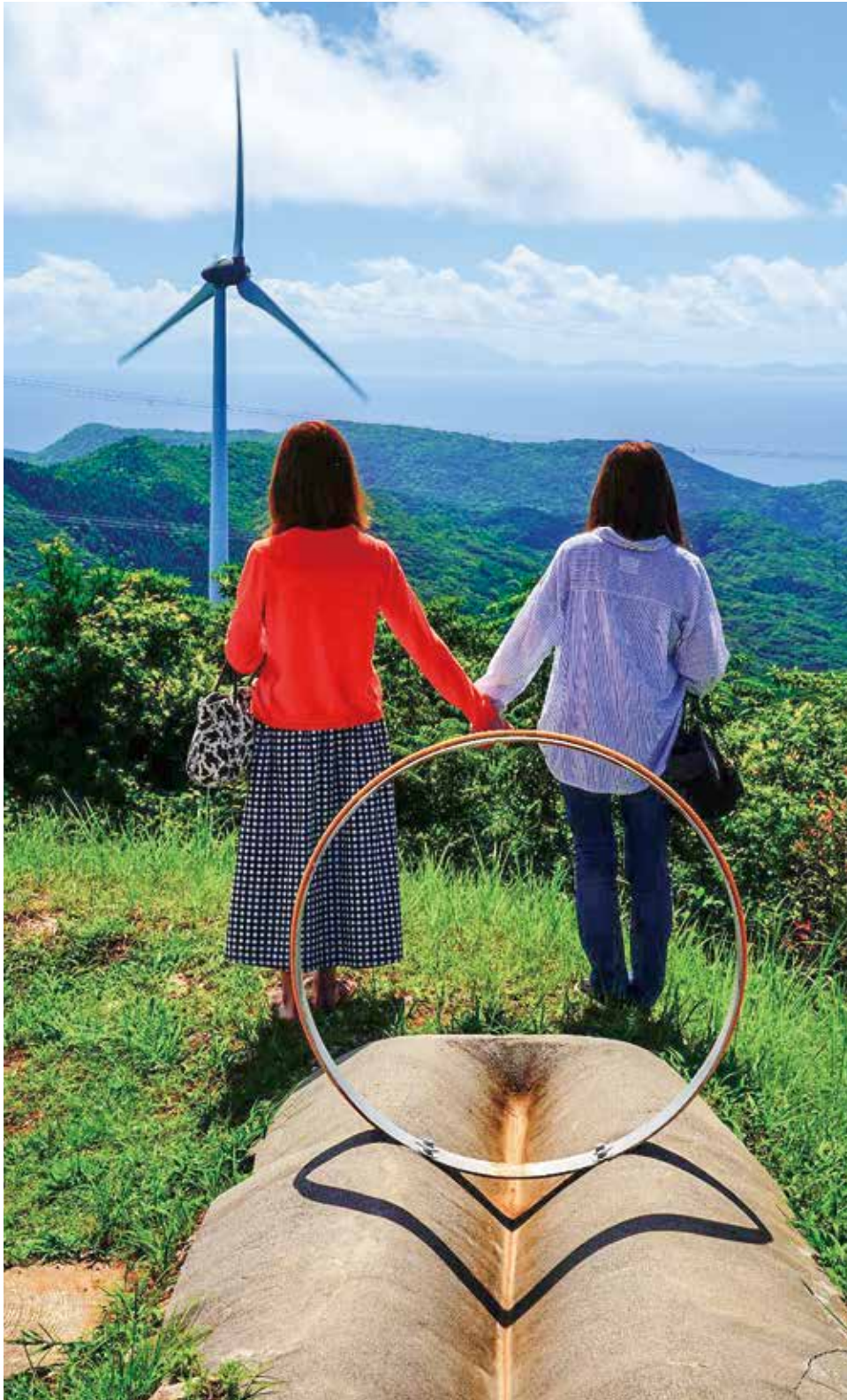




薩摩川内

市議会だより



ハートの影を刻む 柳山風車公園「幸せのリング」前に立つ観光客の母娘

今回の地域映え

幸せの象徴

シンボル

柳山の頂きに現る！

Contents

全国市町村交流 レガッタ	P 2 - 3
令和 6 年度補正予算 恐竜化石活用事業 ^{ほか}	P 4
総括質疑並びに 一般質問 ^{ほか}	P 5 - 10
議決結果等一覧	P 11
委員会報告	P 12 - 13
委員会視察報告	P 13



川内川^を 駆ける

第33回
全国市町村交流レガッタ
薩摩川内大会

本大会は、全国ボート場所在市町村協議会が主催するもので、平成4年度に福井県美浜町で開催された第1回大会に始まり、毎年秋頃、全国のボート場を有する市町村で開催されています。

本市では、令和2年度に開催予定でしたが、新型コロナウイルス蔓延防止のため、翌年度に持ち越しとなりました。

しかし、翌令和3年度も、同様の理由で開催できず、令和4年度の潮来大会（茨城県）、令和5年度の下諏訪大会（長野県）を経た今回、ようやく本市で開催する運びとなりました。

本市議会としても、同日程で開催される会議等のおもてなしのほか、議員のみで構成されたチームで競技に参加するなど、大会を内外から盛り上げて参ります。

市民の皆さまにおかれましても、川内川を力強く駆け抜けるレガッタチームに向けて、熱いご声援をお願いします。

行政チームを少しだけ紹介!



気合十分の教育委員会チーム「薩摩川内市 校長チーム」

意気込みを
ひとこと

チームワークの良さと練習の成果もあり、息の合ったオールさばきは、絶コウチョウ! チャレンジスピリッツでゴールを目指します!!



大会優勝を狙う消防局チーム「Fighters」

意気込みを
ひとこと

市民の命を守る強い使命感と情熱で、地元開催「優勝」を目指し、「薩摩川内消防」を全国へPRします。



下諏訪大会からバトンタッチ!



前回の下諏訪大会では、26チーム約800名の選手が諏訪湖に集結し、白熱したレースを展開しました。

- ◆開催日
令和6年9月7日(土)～8日(日)
- ◆会場
川内川特設会場(西開聞町:開戸橋付近)
- ◆競漕種目
ナックルフォア 440m
 - ① 男子(160歳未満)の部
 - ② 女子(160歳未満)の部
 - ③ 男子(160歳以上)の部
 - ④ 女子(160歳以上)の部
 - ⑤ 男女混合の部(漕手男女各2名)
 - ⑥ 議会議員の部(性別・年齢問わず)

令和6年度補正予算を各常任委員会に付託して審査

観光・公園整備

産業建設委員会
付託審査

修学旅行誘致奨励金事業

50万円

- 修学旅行誘致により、交流人口の拡大や、再訪を促す誘客活動等を行い、観光関連業者の業績向上を図るもの。



藤本滝公園施設整備事業

既定予算充当（財源調整）

- 近年観光客が増加しつつある藤本滝公園の観光客受入体制を整備するため、公園内の施設を整備するもの。



整備される藤本滝

甌島医療補助ほか

生活福祉委員会
付託審査

消防資機材整備事業

3,892万5千円

- 中央消防署上甌分駐所に配備する高規格救急自動車1台と、高度救命処置用資機材救急附属品一式を更新整備するもの。



離島地域子ども通院費等助成事業

472万4千円

- 甌島区域で島外の医療機関等に通院等せざるを得ない子どもと、その付添者の交通・宿泊費の一部を助成するもの。



学校耐震・地区コミ助成・恐竜展示

総務文教委員会
付託審査

平成中学校法面補強事業

2,500万円

- 大地震による滑動崩落の可能性が判明した平成中学校の敷地で、詳細な測量調査と対策工事の設計を行うもの。

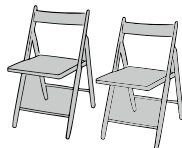


対策を行う平成中学校

一般コミュニティ助成事業

180万円

- 地区コミュニティ協会による、地区・世代間交流目的の行事等で、地域活性化に必要な備品整備を助成するもの。



恐竜化石活用事業

4,707万2千円

- 展示設備整備と、施設改修工事を実施し、甌ミュージアム開館に向けた周知活動や、調査・研究のための普及・啓発活動を行うもの。



出張展示：恐竜化石等巡回展

要望

- 予算額の大きい事業であり、身近な甌島で恐竜化石のレプリカ等を観覧できることから、甌島への来訪と入館者の増加につながるよう、広報に努められたい。

《反対討論》

学校給食センターの拡充は、食育や地産地消等の考えに逆行するとともに、大量の食材を扱うことで、異物混入のリスクも高まることから、自校方式への転換を求める。

② 国県補助事業の補助内示等に伴う予算の増減調整等

① 特定離島ふるさとおこし推進事業の補助内示に伴う予算の計上

（第2回）

○物価高騰により厳しい状況にある生活者への支援に係る予算の計上

（第1回・専決）

補正予算に係る議案を可決
一般会計は合計12億5千781万円の増額

令和6年度第1回
・第2回補正予算

総括質疑 並びに 一般質問

写真：本会議場

市民目線で市政のここを問う

開催日：6月24日、25日、26日、27日（4日間）

16名の議員が市政全般における市の考えを問い、政策の提案を行いました。この掲載内容は、各議員自らが質問と答弁を要約し、本市議会の広報委員会が体裁を整えたものになります。



問 マイナ保険証への移行に向けた対応を問う
答 年内で現行の保険証が発行されなくなるが、本市の対応は今年12月2日より、マ



問 新型コロナウイルス感染症は、予防接種法上のB類疾病となり、季節性インフルエンザの予防接種と同様、定期接種になることだが、①定期接種対象者の自己負担額は②任意接種に係る費用負担も軽減できないか。
答 ①2千100円を予定している。②B類疾病扱いのため、定期接種の対象者以外は自己負担となる。

問 小・中・義務教育学校勤務の会計年度任用職員に係る費用弁償（通勤手当）の支給要件は
答 月額額の会計年度任用職員には、距離に応じて支給しているが、日額及び時間額の会計年度任用職員は支給対象になっていない。
その他の質問通告
○政党機関紙の役所内購読勧誘について

イナ保険証を基本とする仕組みへ移行するにあたり、国民健康保険と後期高齢者医療保険の全被保険者に、今年8月1日から来年7月31日まで使用可能な保険証を交付するとともに、今年12月2日以降に資格を取得された方や、マイナ保険証へ移行されていない転入者には、来年7月31日まで使用可能な資格確認書を交付する。

個人質問
岩切 正之
新型コロナウイルス
ワクチン接種事業を問う



問 子育て・新婚世帯への補助を充実させる中で、市有地を幹旋販売できないか。新たな制度設計も視野に、考えを伺う。
答 制度上、販売価格の減額は可能だが、民間事業者が不利な競争を強いられる可能性も鑑み、慎重な検討を要する。
問 18歳までの子ども医療費において、窓口負担の無償化を考えるべきでは
答 現在、県事業により、住民税非課税世帯の18歳までの子ども医療費の窓口負担は無償化されている。令和7年度から、本市独自の取組として、窓口負担の無償化の対象を、県事業の対象外である住民税課税世帯の小・中学生、高校生まで拡大する方向で検討したい。

その他の質問通告
①各種災害への予防活動・実施事業の取組について
②行政連絡員について



問 元気な高齢社会の構築について、どのように取り組んでいくか。
答 「健康づくり」と「介護予防」を一体的に実施する考えである。「健康づくり」としては、病気のコントロールに関する正しい知識の発信、特定健診、長寿健診による疾病の早期発見、がん検診などを進め、「介護予防」としては、ミニデイ、ふれあいいきいきサロン等の自主グループ活動への支援、介護予防元気度アップ事業などを駆使している。

川添 公貴
少子高齢化対策に係る
施策を示せ



犬井 美香
公立学校における
学校部活動の今後



問 全国的にも運動部活動の参加率は減少傾向にあるが、本市における過去3年間の男女別学校部活動加入率は

男女別 学校部活動加入率 (単位:%)

年度	男子	女子
R4	68.5	68.2
R5	67.8	63.1
R6	62.8	60.7

※運動部・文化部を合わせた加入率

答

問 学校部活動の目的は

答 学校教育の一環として行われる部活動の目的は、「スポーツや芸術文化等の活動に親しむことで、生涯にわたって心身の健康を保持・増進し、豊かなスポーツライフの実現を図ること」と、「多様な表現や鑑賞の活動を通して豊かな心と創造性の育成を図ること」である。

問 休日部活動の地域移行の進捗は

答 令和6年度は、休日に指導を行うことができる地域指導者を、市内全ての

の中学校・義務教育学校11校20部活動へ派遣するに至った。また、地域指導者の人材バンク登録者数は、30人である(令和6年6月7日現在)。

問 休日部活動の地域移行を、令和8年度から全面展開することだが、予定通り実施できるか。

答 人材や財源の確保、市民への広い周知など、大きな課題があるが、生徒や保護者が期待する部活動について、広く意見を聞く必要がある。計画に沿った事業展開に努めるが、まずはしっかりと声を聞くことから始めたい。



その他の質問通告

○母子保健と児童福祉の在り方



溝上 一樹
甑島の医療体制を問う



問 島外治療が必要な島民や介添人への支援は

答 従来の助成等に加え、子育て支援としての交通・宿泊費の支援事業を、補正予算で提案している。

問 上甑から下甑へ通う人工透析患者への支援は

答 送迎等の支援については十分な検討を、金銭面の支援については慎重に検討していきたい。

甑島の交通機関

問 新フェリー「結LINEこしき」には、多様な方が乗船しやすい環境を整える計画があるのか。

答 これまで以上に、高齢者や障がい者等に配慮した環境となっている。



結LINEこしき進水式

地域のスポーツ環境

問 甑島を活用した子ども

もたちのスポーツツーリズムへの考えは

答 スポーツ少年団員の交歓交流大会等を甑島で開催できないか検討するとともに、甑島の情報を周知して、スポーツツーリズムにつなげたい。

問 学校体育施設の電気料実費徴収について、負担の大きな団体への支援は考えていないのか。

答 減免等の負担軽減は考えていない。

問 上甑コミュニティセンターに空調を整備する必要性をどう考えるか。

答 甑島区域の主要なスポーツ施設と認識しており、必要性は今後調査・研究していく。

幼稚園における正職員数
問 本市幼稚園の園児数と正職員のバランスは

答 1学級園児35人当たり専任教諭1人が配置基準かつ最低のバランスである。



阿久根 憲造
本市における
ワクチン政策を問う



問 新型コロナウイルスワクチンの①接種対象者数は②接種計画は

答 ①本市の対象者は、主に65歳以上の高齢者、約3万人である。②従来の季節性インフルエンザ予防接種と同様、各医療機関での個別接種とし、1人当たり2千100円の自己負担を予定している。



問 子宮頸がんを予防するHPVワクチンについて、キャッチアップ接種を含めた接種状況は

答 標準年齢による通常接種、公費による接種機会を逃した方へのキャッチアップ接種ともに、約3割の接種状況である。キャッチアップ接種は、本年度で国の特例的な扱いが終了するため、対象者への早急な勧奨準備を進めている。

問 带状疱疹やRSウイルスのワクチンについて理解はあるのか。

答 ワクチン接種による重症化予防の意義は認識している。公費負担による助成は行っていないが、定期接種化に関する国の動向を注視していく。

高齢者へのフレイル(虚弱)対策を問う

問 社会的フレイルへの対策状況は

答 各地域でふれあいいきいきサロンを開設し、令和5年度は282会場で6万5千人超の参加があった。中でも、フレイル予防に特化した講座では、34会場で延べ1千913名の参加があった。

その他の質問通告

①学校フット物洗口事業について
②マイナンバーカードについて

成川 幸太郎
下水道事業経営戦略について問う



問 下水道接続促進のためには、下水道基本料金の2倍を超える下水道基本料金の引下げで高額イメージを改善することが大事ではないか。

答 料金の見直しは、経費全体の把握が基礎となるため、整備完了時にこれらを把握し、適正な料金の見直しを検討したい。

天辰第二地区土地区画整理事業の現状を問う

問 進捗率と完了時期は

答 進捗率は事業費ベースで47・2%（今年3月末現在）、完了は令和12年度の予定である。

問 同一地域にある公園予定地3〜5号と、その西側にある平佐焼窯跡を一体化し、歴史文化公園にできないか。

答 今後、窯跡の歴史的価値を現地調査等で判断し、どのような公園が望ましいか検討していく。

問 検討には、平佐焼の



平佐焼窯跡群
松山・柚木崎窯跡

保存・継承を推進している地元地区コミの代表も交えるべきではないか。

答 保存活用方針検討の際は、地元も交えて整備の方向性を見極めたい。

訪問介護事業

問 訪問介護または訪問入浴サービスの事業者数は

答 今年4月1日現在で27事業所ある。

問 そのうち、訪問入浴サービスは2事業者だが、需要に対して充分か。

答 2事業者では、対応が厳しいと感じている。

問 訪問入浴サービス希望者が増加した場合、どのように対応するか。

答 現在、具体策はないが、需要増加を見越して関係者の意見を聞き、調査・研究したい。

森崎 晃
県事業川内港整備の遅れについて問う



問 国際定期コンテナ航路の抜港が懸念されているが、経済的ダメージは

答 川内港のコンテナ貨物の貿易額は、令和5年の輸出入額が約120億円、輸入額が約137億円である。紙パルプは輸出全体の約7割を占めており、大きな影響が想定される。また、川内港との連携が前提のサーキュラーパーク九州を含む川内港臨海ゾーンの取組への影響も強く懸念される。



工事中の川内港

問 本市は県の補助を前提に、使用料の一部補助を検討する用意がある。

答 ④本市は県の補助を前提に、使用料の一部補助を検討する用意がある。

地区コミュニティ協議会におけるクラウドファンディング支援事業を利用した山頂整備

問 目標額に達しなかった不足分を、市の支援事業で補助する考えは

答 これまでアグリランドに4千万円超の支援をしており、市の単独補助は厳しい。地区コミと共に今後に向けて議論し、必要な財源を探していきたい。

問 県との調整を要するガントリークレーンの設置について、本市の議員全員に報告した後、県と協議されたのか。

答 県副知事と面談し、次の4項目を要望・伝達した。①将来的に考えるとの回答に鑑み、未定となっている設置時期を明示されたい。②使用料の算定方式を志布志港と同様にされたい。③使用料は県が半分を補助されたい。

その他の質問通告

①中心市街地の活性化についで
②(仮称)スマートデジタル計画の方向性について

中島 由美子
AEDを24時間利用可能な場所に



問 災害等に備え、AEDを屋外に設置するケースが増えてきているが、本市においても、AEDをいつでも利用できるよう、公共施設の屋外に設置する考えはないか。

答 他の自治体で実績があることは把握している。盗難や高温多湿による故障等の不安もあるため、先進自治体の情報等を踏まえて調査・研究していきたい。

問 全国の中学校3年生で、英検3級相当以上の取得者が半数以上になるとの新聞掲載や報道があった。政府は令和9年度までに、この取得者を、60%以上まで引き上げる目標を掲げているが、本市の現状はどうか。

答 本市では、英検受験料を年1回補助しており、令和5年度における中学校3年生の3級相当以上の取得者は53・1%となっている。



その他の質問通告

①带状疱疹ワクチン接種の補助はできないか
②「熱中症特別警戒アラート」の運用を受けて



瀬尾 和敬
市民へのスピーディな
行政サービスを



問 市民からの要望にはどのようなものがあるか。

答 市ホームページや庁舎内のご意見箱から意見等を募る「市民の声制度」において、インフラ整備に係る要望や、戸籍・マイナンバーカード・税・ワクチン接種・健康づくりへの問合せ等が、多岐にわたって寄せられている。

問 これらの要望に対して、どのように対処しているか。

答 頂いた要望や意見については、秘書広報課において速やかに関係課へ共有し、概ね2週間を目処に回答している。

問 市民の要望窓口を一元化する(仮称)「よろず相談室」の開設はできないか。

答 秘書広報課が中心となつて関係課と調整を行い、対応している現状が、質問の意図する仕組みと同様ではないかと考えている。「市民の声制度」の周知をさらに図り、今後も市

民の要望を的確に把握して迅速な回答を行い、本市の施策や業務の改善に活かせるよう、制度の充実を図っていく。



問 道路の陥没等に対する要望を、自治会等が任意の様式で届けてもよいか。

答 様式の指定はなく、どのような体裁であっても、要望があれば現地確認に伺う。

その他の質問通告

- ①空家対策について
- ②韓国昌寧郡との交流について
- ③中学生の職場体験学習について
- ④祁答院小学校について



塩田 耕太郎
本市職員のメンタル不調の実態と対策を問う



問 本市職員におけるメンタル不調の実態は

答 令和5年度において、30日以上メンタル不調による病気休暇者は38名で、そのうち入院した職員は2名である。また、病気休暇者38名のうち19名は、令和5年度中に職場復帰している。続く令和6年度は、6月13日現在で21名の病気休暇者があり、2名が職場復帰している。なお、1年を超える長期の病気休暇者は4名である。

問 甑島の医療機関で発生している、医師と患者・医療スタッフ間のトラブルについて、市はどのように実態を把握しているか。

答 直接的に、あるいは間接的に実態を把握している。それぞれの状況に応じて必要な指導等を行っている。

問 甑島の医療機関窓口を設置されている「ご意見箱」

見箱」に投函された意見の内容は

答 詳細は示せないが、診療に関する事、職員の接遇に関すること等の意見があり、中には非常に厳しい意見もみられた。



甑島における水道施設の災害対策

問 島内の水源地や配水池等の水道施設を、災害から守るための対策は

答 災害による水道施設周辺の倒木被害を未然に防ぐため、施設に近接している草木の除去を適宜行っているほか、施設に故障等がないか、定期的に点検・確認している。また、平常時の安定供給のため、施設の清掃作業等も適宜実施している。



下園 政喜
鳥獣被害等の過疎地域の問題点を再確認する



問 増加する鳥獣被害の今後の個体数管理は

答

イノシシ・鹿の捕獲頭数 (単位:頭)		
年度	イノシシ	鹿
R4	2,632	4,449
R5	3,050	4,743
R6(計画)	3,800	5,200

※代表的な2種の動物のみ掲載
※引き続き個体数を減らす対策に取り組んでいく。

問 ジビエを、鳥獣食品やペットフード等へ有効活用できないか。

答 現在ジビエ処理施設の設置計画はないため、猟友会からのジビエ利用の相談については、近隣のジビエ処理施設の情報提供等を行っている。

道路・河川のアート作業

問 アート作業が、過疎・高齢化で困難になつてきており、市の道路維持補修班等で補う必要があると考えている。今後のアート作業の方向性は

答 市による対策を要望される自治会も増え、作

業困難な地域の声も届いている。市としては、引き続き可能な範囲でのアート作業をお願いし、できなかった箇所については、市の道路維持補修班等に対応していきたい。

高齢者の免許返納者

問 免許返納が重大な事故を減らす一方で、要介護となる可能性が8倍に増加する等、健康寿命が短縮している現状をどのように認識しているか。

答 免許返納が認知症等の一因となり得ることは考えられるが、事故のリスクはなくなるため、返納後も積極的な社会参加を呼びかけ、交通安全教育の充実に努めたい。

問 地域の公共交通を改善するために、どのような対策を進めていくか。

答 利用状況等を適切に把握し、ニーズに沿った運行を検証して、利便性向上と利用促進に努める。

山崎 真由美

本市の教育にIB
(国際バカロレア)導入を



問 IBに関する認識は

答 国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラムであり、国際的に通用する大学入学資格を与えられるものと認識している。



問 「新幹線が停車する」「国際港の整備が進む」といった本市の立地・特性を考えると、移住・定住対策に教育移住の視点を取り入れた施策が必要と考えるが、市長の見解は

答 IBを導入した教育移住は重要な要素であり、移住・定住対策としての評価は極めて高いと考えている。本市での導入は、市教育委員会が行う調査等を踏まえて考えていくとともに、県内のIB校や本市内のIB候補校の動向を注視して、成果や課題の情報を得たい。

坂口 正幸

耳の不自由な方への
窓口対応を問う



問 市役所窓口にて、耳の不自由な方が来られた際の対応は

答 大きな声で話しかける、耳元に近づいて話かける、筆談をする、介添えの方を通して意志疎通を図るなど、ケースバイケースで対応をしている。

問 補聴支援システム機器や、軟骨伝導集音器を導入する考えはないか。

答 これら機器の導入については、十分調査の上、検討する。また、人数の多寡ではなく、耳の不自由な方が来庁されることを想定するとともに、そのような方々への市民サービスが低下することのないよう、最大限配慮しながら対応していく。



常田 裕達

子育て支援・
少子化対策の説明を



問 今後の子育て支援、少子化対策の方針について、施策の端を述べよ。

答 県・国の現状・見通しも踏まえ、人のライフステージに係るパッケージの政策を検討しており、二つ目が「横断的な少子化対策、子育て支援の実行計画、アクションプラン策定の必要性の検討」二つ目が「市役所組織の在り方の検討」三つ目が「所要の財源に係る在り方の検討・検証」が必要であると考えている。令和6年度は88億円（当初予算の15%）を予算措置しており、大きな枠組は維持しつつ、少子化対策・子育て支援の実行計画的な検証が必要と考えている。

問 災害に備えた教育を

答 茨城県常総市の児童生徒は、マイタイムライン（災害発生時に円滑な行動ができるよう、自己の防災行動を時系列で整理



問 防災行政無線の詳細設定を、本市に所縁のある楽曲に変更できないか。

答 技術的には可能であるが、著作権の問題もあるため、必要経費等を調査し、検討していきたい。

その他の質問通告
○国際化に対応した教育について

その他の質問通告
○補聴器購入に伴う給付の申請について

災害に備えた教育を

防災行政無線の詳細設定



井上 勝博
いの上 かつひろ

川内港を軍事利用させるな



どうかの情報は無い。



問 国から本市に向けた川内港特定利用港湾についての説明があった。資料に自衛隊等が特定利用港湾を利用する際、武器・弾薬の積み下ろしがあり得るとの記載があったが、武器・弾薬の種類は何か。

答 具体的な種類については承知していない。

問 なぜ尋ねないのか。

答 関連する法令に則り安全に十分配慮するとされているためである。

問 さつま町に弾薬庫建設が計画されている。新設予定の川内宮之城道路は、弾薬・武器の運搬に使用されるのではないか。

答 さつま町の弾薬庫設置については、中岳周辺で適地調査が始まったこと以外の情報はない。

問 沖縄県的那覇軍港ではオスプレイが離陸している。川内港でこれらの離発着はないか。

答 ヘリコプター等の航空機が離発着訓練をするか

問 国際人道法では軍事目標のみが攻撃対象とされており、特定利用港湾は有事の際に攻撃目標にされやすくなる。市長は指定を受け入れるのか。

答 特定利用港湾の円滑な利用に関する枠組みは、管理者の県と関係省庁で文書を取り交わすもので、本市としては国や県に情報提供を求めている。

その他の質問通告

- ①土地・家屋台帳の閲覧サービスの継続を
- ②重度心身障害者医療費助成に所得制限を設ける
- ③学校給食費無償化について市長に問う
- ④学校給食を自校方式に戻せないか



落口 久光
おちぐち ひさみつ

市役所本庁舎トイレにベビースタイルを



問 市役所本庁舎トイレへのベビースタイルの設置について、どのように考えているか。

答 利用者が多い2階の女子トイレから設置を検討したい。

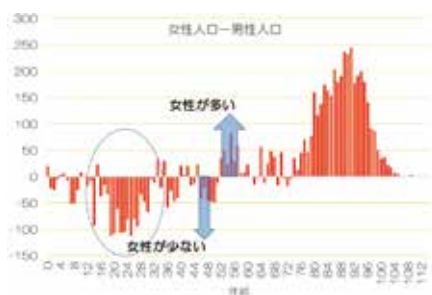
川内保健センターのトイレ設置場所を再検証

問 川内保健センターの1階に、男児用小便器を整備する考えはないか。

答 同施設の3階に設置しているが、利用者が少ないとの意見もあるため、必要性・利便性を考慮して調査・検討する。

進行する少子化に対して

問 次のグラフは、今年4月1日の年齢別男女人口口差を表しており、出産適齢期の女性人口が極端に少ないことがわかる。私は就職等による転出が原因と分析しており、女性に特化した雇用をつくる必要があると考えているが、



これらをどのように捉えているか。

答 鹿児島市や福岡市への転出が多い状況だが、女性に特化して注力すべきかどうかは、継続的な分析が必要と考える。

問 今後、どのように対応していくのか。

答 市の組織や財源等の検証を進めつつ、若者や共働き世代と市長との意見交換を実施していく。

その他の質問通告

○鎧兜を核とした観光振興の考えを伺う ほか

意見書

次の意見書を可決し、関係行政等へ提出しました。

◆地方財政の充実・強化に関する意見書

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、デジタル大臣、内閣府特命担当大臣（こども政策・少子化対策・若者活躍・男女共同参画）

◆学校における新しい生活様式を実現するための教職員定数の改善と、義務教育費国庫負担制度の拡充に関する意見書

(提出先) 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣

Feature Article

鹿児島純心大学が市議会を訪問!

～他業種から保健師の役割を学ぶ～

令和6年5月29日に、保健師を目指す鹿児島純心大学の4年次生が、「福祉・組織実習」の一環で市議会を訪れ、議場での講義や、疑似的な議会運営を通して、市議会の仕組みを学びました。



6月定例会 このようになりました

会 期	令和6年6月13日～令和6年7月9日（27日間）		
議決等件数	原案可決	13件（条例5件、予算3件、その他5件）	
	承認	3件	同意 なし
陳 情	採択 1件	不採択 2件	請 願 採択 1件

付託先凡例
○総文：総務文教委員会
○生福：生活福祉委員会
○産建：産業建設委員会

議決結果



主な議案の議決結果等（予算議案を除く）

議案番号	議 案 の 件 名 ・ 概 要	付託委員会	議決結果	
57	防災行政無線システム更新事業（第1期）工事請負契約の締結について 上記工事の請負契約を締結しようとするもの	生福	原案可決	全会一致
58	薩摩川内市税条例の一部を改正する条例の制定について 私立学校法の一部を改正する法律の公布による地方税法の一部改正に伴い、所要の規定の整理を行うもの	生福	原案可決	全会一致
59	薩摩川内市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について 指定地域密着型通所介護の提供に関して、原則として身体的拘束等を禁止する規定を新たに設けるほか、所要の規定の整備を図ろうとするもの	生福	原案可決	全会一致
60	薩摩川内市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 小規模保育事業所及び事業所内保育事業所における満3歳以上の児童に係る保育士、保育従事者の配置基準について見直すほか、所要の規定の整備を図ろうとするもの	生福	原案可決	全会一致
61	薩摩川内市水道事業の設置等に関する条例及び薩摩川内市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 港町の一部の区域について、町の区域の設定及び変更が行われたことに伴い、所要の規定の整備を図ろうとするもの	生福	原案可決	全会一致
62	亀山小屋外運動場照明施設等の指定管理者の指定の変更について 同施設を、薩摩川内市総合運動公園の有料公園施設及び御陵下公園と一体的に管理するため、公益財団法人薩摩川内市民まちづくり公社の指定期間を変更しようとするもの	産建	原案可決	全会一致
63	薩摩川内市祁答院生態系保存資料施設の指定管理者の指定の変更について 同施設を、薩摩川内市蘭牟田池自然公園施設と一体的に管理するため、公益財団法人薩摩川内市民まちづくり公社の指定期間を変更しようとするもの	産建	原案可決	全会一致
64	薩摩川内市の附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について 薩摩川内市立地適正化計画（防災指針）策定委員会を廃止するとともに、都市計画マスタープランの改定に必要な事項を調査・審議するため、都市計画マスタープラン策定委員会を設置しようとするもの	産建	原案可決	全会一致

（予算議案の詳細は、P4 をご確認ください。）

請願の処理状況

請願番号	請 願 の 件 名 ・ 概 要	紹介議員	提出者	付託委員会	議決結果
7	地方財政の充実・強化に関する意見書提出についての請願書	成川 幸太郎	薩摩川内市 職員労働組合	総文	採 択 （全会一致）

陳情の処理状況

陳情番号	陳 情 の 件 名 ・ 概 要	提出者	付託委員会	議決結果
8	現行の健康保険証の存続を求める陳情 （賛成討論）一括討論のため、詳細は陳情第10号を参照。	遠嶋 春日児	生福	不 採 択 （賛成少数）
9	「学校における新しい生活様式を実現するための教職員定数の改善と、義務教育費国庫負担制度の拡充に関する意見書」の提出を求める陳情	学校における 新しい生活様式 を実現する会	総文	採 択 （賛成多数）
10	現行の健康保険証の存続を求める意見書の提出を求める陳情 （賛成討論）保険証とマイナンバーカードの一本化はトラブルが絶えず、代替措置である資格確認書の運用を拡大するほど、現行の保険証との違いがなくなる。これら矛盾の解決策は、「マイナカードの取得は任意」という原点に戻ることである。	鹿児島県退 職女性教職 員連絡協議 会川薩支部	生福	不 採 択 （賛成少数）

※ 本ページの議決結果欄における「全会一致」は議長を除く出席者全員が賛成であったことを示します。

私たちが慎重にチェック!

以下の日程で開催した各委員会の要点を紹介します。

- >開催日：総務文教委員会・・・・・・・・・・6月28日
産業建設委員会・・・・・・・・・・7月 1日
生活福祉委員会・・・・・・・・・・7月 2日
議員定数等調査特別委員会・・・・・・・・・・7月 3日（報告は次回以降となります。）

※ 各種委員長報告の全文はこちら →



※ 録画中継はこちら →



総務文教委員会

所管事務

行政手続きにおける押印廃止の推進を

◆要望

行政DXによる押印廃止の取組において、補助金申請事務等に係る押印については、財務上の課題解決を図りながら、デジタル技術を用いた押印廃止を検討されたい。

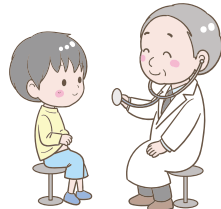


所管事務

不登校児童・生徒の健康診断等の支援を

◆要望

不登校児童・生徒の学校における健康診断については、健診を受けられていない現状があることから、学びの多様化を図っていく上で、健康面に配慮した支援体制の構築を検討されたい。



産業建設委員会

所管事務

ミュージックフェス迫る！ 市民が納得する形での開催を

◆要望

薩摩川内市誕生20周年記念「ミュージックフェス」は、開催時期の3か月前になっても全体像が見えないことから、早めに企画内容を公開するとともに、多くの市民が納得できるように入場料の設定をもって開催できないか検討されたい。



所管事務

小規模自治体や高齢地域の 河川愛護作業に協力を

◆要望

河川愛護作業が実施困難な小規模自治体や高齢地域では、行政が浚渫工事を兼ねて草木の伐採を行うケースがあるが、土砂の堆積と草木の成長度合いは異なることから、状況に応じて、それぞれ別に実施できないか検討されたい。



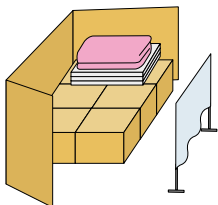
生活福祉委員会

所管事務

大規模地震に備えて
シミュレーション訓練を

◆要望

大規模地震は予知が難しいことから、被災地に派遣された職員の経験談を共有するほか、避難所を開設し、段ボールベッドを組み立てるといった、シミュレーション訓練の実施を検討されたい。



陳情審査

現行の健康保険証の存続を求める陳情
現行の健康保険証の存続を求める意見書の提出を求める陳情

◆質疑

Q. マイナ保険証の保有割合は

A. 国民健康保険で69%、後期高齢者医療制度で60%である。

Q. マイナ保険証を持たない被保険者に交付される資格確認書の取扱い

A. 市が資格確認書を交付するため、従来どおり医療を受けることができる。

所管事務

介護職員の人材不足を
想定したサービスの在り方を

◆要望

介護職員の人材確保については、特に訪問介護サービスにおける人材不足等がこの先の課題として想定されることから、今後のサービスの在り方について検討されたい。



◆討論

(賛成) 資格確認書は、従来の健康保険証と全く変わらないことから、健康保険証をこれまでどおり使用すればよいのであって、廃止する必要はない。



高知県香美市 視察状況

(2) 調査項目
① 国際バカロレア教育について
【高知県香美市】
② コミュニティによるまちづくりについて
【香川県丸亀市】
③ 岡山市立石井小学校におけるイマージョン教育について
【岡山市】

(1) 調査日
5月15日
～ 5月17日



総務文教委員会



千葉県松戸市 視察状況

(2) 調査項目
① 児童虐待の予防と対応、ヤングケアラー支援及び子どもの貧困について
【千葉県松戸市】
② 防災先進都市を目指す常総市の取組について
【茨城県常総市】
③ いばらき消防指令センターについて
【水戸市】

(1) 調査日
5月15日
～ 5月17日



生活福祉委員会



山口県下松市 視察状況

(2) 調査項目
① ドローンを活用した農地パトロールについて
【広島県尾道市】
② 新規就農支援について
【山口県防府市】
③ 生活環境を害する空家の所有者への指導について
【山口県下松市】

(1) 調査日
5月27日
～ 5月29日



産業建設委員会

外から学ぶ

視察の調査結果を、6月定例会で報告しました。
報告内容の詳細は、議会事務局が所管するホームページや、調査報告書にてご確認いただけます。



議員の「声」を「文字」でお届け

続報!

6月定例会の開催にあわせて、発言内容を字幕で表示する傍聴席のモニターが増設されました。

増設されたモニターは、従来のものよりも大型で、車椅子用傍聴席の前方に設置されており、さらに様々な方へ視覚的情報をお伝えできるようになっています。



※字幕は、AIにより、瞬時に自動変換をしているため、誤変換が生じることもございます。

第3回(9月) 定例会 予定

	日	月	火	水	木	金	土
8月	18	19	20 本会議 (初日)	21	22	23	24
	25	26	27	28	29 本会議 (一般質問)	30 本会議 (一般質問)	31
9月	1	2 本会議 (一般質問)	3 本会議 (一般質問)	4 常任委員会	5 常任委員会	6 常任委員会	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17 本会議	18 常任委員会 (決算)	19 常任委員会 (決算)	20 常任委員会 (決算)	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	10/1 本会議 (最終日)	2	3	4	5

本会議を傍聴しよう

本会議は次の手順で傍聴できます。

- ①市役所4階の議場傍聴席に行く。
- ②入口にある傍聴人受付簿に、住所・氏名・年齢等を記入する。
- ③傍聴人受付簿を受付箱に入れる。
- ④入場する。

※傍聴席は50席あり、傍聴者多数の際は入場制限を設けさせていただきます。

議員表彰

令和6年5月22日に開催された全国市議会議長会定期総会において、議員勤続に係る表彰の贈呈がありました。
本市議会からは、2人の議員が表彰され、6月27日の議員全員協議会で、表彰伝達式を行いました。

【表彰議員】

・瀬尾 和敬 議員
特別表彰(議員表彰25年以上)

・徳永 武次 議員
(議員表彰15年以上)



お詫びと訂正

薩摩川内市議会だより第79号の3ページ中段に掲載した「その歳出予算何に使う?」の記事に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

(誤) 義務的経費(歳出の49.2%)
投資的経費(歳出の14.4%)



(正) 義務的経費(歳出の47.7%)
投資的経費(歳出の16.2%)

意見交換会を実施しました

令和6年5月31日(金)に、「薩摩川内市高齢者クラブ連合会東郷支部」の皆さまと、意見交換会を実施しました。
市議会からは6名の議員が出席し、参加者から貴重な意見をいただきました。



編集後記

広報委員会では、市民の皆さまに市議会への興味を持っていただくために、前号から市議会だよりをリニューアルし、現在も試行錯誤しながら取り組んでおります。

今後は、議会からの一方的な発信ではなく、届けられた多くの声に対応できるよう、皆さまが知りたい情報をメインに据えて、さらに見やすく、読みたくなる市議会だよりを目指すとともに、皆さまと市議会をつなげる便りとなるよう、取り組んでまいります。

(溝上 一樹)

広報委員会

(委員長) 山中 真由美
(副委員長) 山元 剛
(委員) 落口 久光
犬井 美香
坂口 正幸
溝上 一樹



市議会だよりは、国産竹を10%使った紙(中越パルプ工業株式会社川内工場で製造)を使用しています。



自治体広報紙配信アプリ「マチイロ」ダウンロードはこちら

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。